

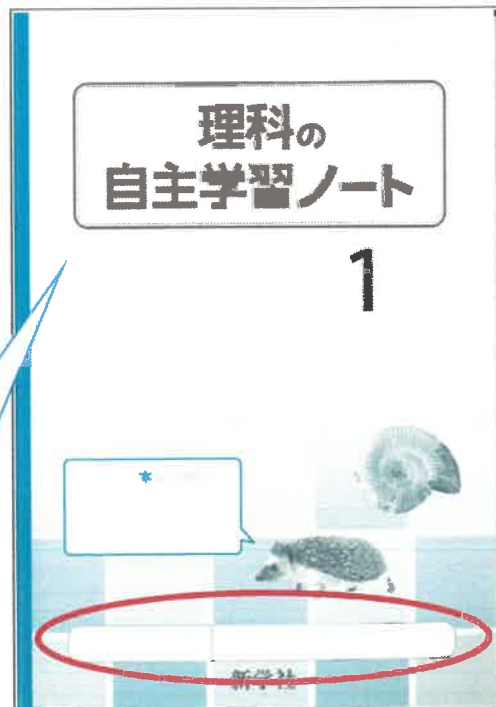
# 《理科ワーク（理科の自主学習）の進め方 ～予習編～》

1. まず、「理科ワーク」と「ワークノート」に名前ペンで、番号、名前を書きます。



こちらは「理科ワーク（本誌）」問題文等はこのワークを見ます。

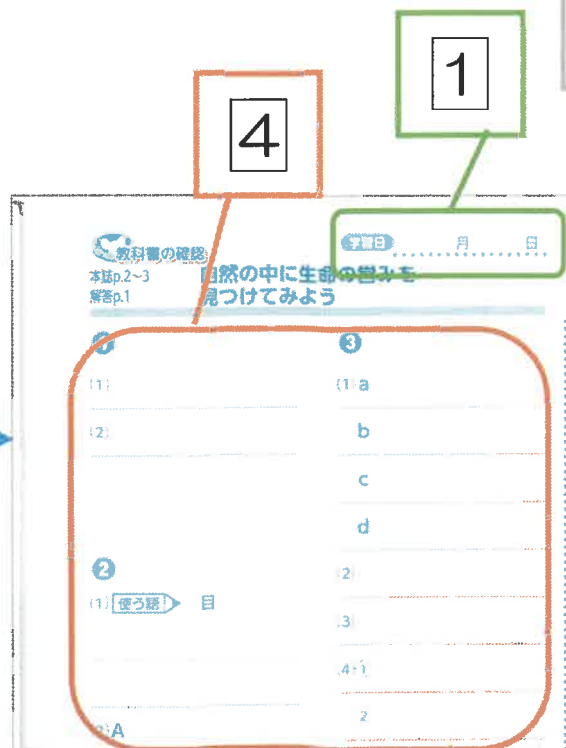
2、3年生にはそれぞれの学年のワークがあります。2年生は緑色、3年生は青色のイメージです。ただし、ワークノートはどの学年も青色イメージです。



こちらは「ワークのノート（ワークノート）」解答はこのノートに書きます。

2. 教科書で調べながら学習を進めます。

- 1 学習した日にちを書く。
- 2 示された教科書のページを開く。
- 3 教科書を読みながら問題を解く。
- 4 解答はワークノートの対応しているらんを書く。
- 5 教科書を見てもわからない問題は空けておくが、理科ワーク（本誌）の問題文の前に☑ マークを付ける



**教科書の確認** 自然の中に生命の営みを見つけてみよう

1 スケッチのしかた DVD、本誌の図版・写真をモノクロ化して収録！図版加工もできます。

(1) スケッチのしかたとして正しいものを、次のア～ウから1つ選びなさい。  
 ア 線を二重にしてかく。  
 イ 細い線や小さな点でかく。  
 ウ 影をつけてかく。

(2) 図で、スケッチのしかたとしてよい例はa、bのどちらか。

2 ルーベ・双眼実体顕微鏡の使い方

(1) 観察するとき、ルーベはどのような位置に持って使うか。

2) 図1のように、観察するものが動かせない(A)とき、動かせる(B)とき、ピントはそれぞれどのようにして合わせるか。次のア～ウから1つずつ選びなさい。  
 ア 顔を前後に動かす。 イ 観察するものを前後に動かす。  
 ウ 顔と観察するものを、両方前後に動かす。

(3) 次の文は、図2の双眼実体顕微鏡の操作の手順を示したものである。①～④の( )にあてはまる語を書きなさい。

① 左右の( )を自分の目の幅に合うように調節し、左右の視野が重なって1つに見えるようにする。

② ( )をゆるめ、観察物の大きさにあわせて鏡筒を上下させる。

③ 右目でのぞきながら( )を回してピントを合わせる。

④ 左目でのぞきながら( )を回してピントを合わせる。

(4) 双眼実体顕微鏡では、観察するものがどのように見えるか。